

パングレアチン〈ハチ〉 500g

2.適用上の注意

- (1)投与に際しては、直ちに飲み下すように注意すること。(小児が誤って本剤を大量に停滞させたため、口内炎及び口腔内潰瘍を起こしたとの報告がある。)
- (2)投与に際しては、粉末を吸入しないように注意すること。(本剤の吸入により気管支痙れん、鼻炎を起こしたとの報告がある。)

【薬効薬理】

- プロテアーゼ、アミラーゼ、リパーゼ等の酵素を含有し、たん白質、炭水化物及び脂肪の消化を行う。
- 主な酵素の至適pHは次の通りである。
 アミラーゼ…………… 6.0～8.0
 プロテアーゼ…………… 7.5～9.0
 リパーゼ…………… 7.0～9.0

【有効成分に関する理化学的知見】

- 1.一般名：パングレアチン
- 2.性状：【組成・性状】2.性状の項参照

【文献請求先】

ニプロ株式会社 医薬品情報室
 〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号
 TEL 0120-226-898
 FAX 06-6375-0177



販売

ニプロ株式会社
 大阪市北区本庄西3丁目9番3号



製造販売
東洋製薬化成株式会社
 大阪市鶴見区鶴見2丁目5番4号

500g

パングレアチン 〈ハチ〉

GS1 < 調剤包装単位用コード >



(01)04987190692467

製造番号

使用期限

GS1
販売包装
単位用コード



500g

▲ 開封口

健胃消化剤

日本薬局方

パングレアチン パングレアチン 〈ハチ〉



パングレアチン〈ハチ〉 500g

2018年 8月作成(第1版)

日本標準商品分類番号

872331

承認番号 (60AM) 5880

薬価収載 1985年12月

販売開始 2019年1月

再評価結果 1983年4月

貯法：気密容器、
 30℃以下
 使用期限：外箱に表示(3年)

健胃消化剤

禁忌(次の患者には投与しないこと)

- (1)本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2)ウシ又はブタたん白質に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

- 1.組成
1g中 日本薬局方パングレアチン1g含有。
- 2.性状
白色～淡黄色の粉末で、特異なおいがある。

【効能・効果】

消化異常症状の改善

【用法・用量】

パングレアチンとして、通常成人1回1gを1日3回食後に経口投与する。
 なお、年齢・症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 1.副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	くしゃみ、流涙、皮膚発赤等の過敏症状

注) このような場合には投与を中止すること。